

2003年1月29日発行

熊本県地域福祉メールマガジン

月刊「みんなでたのしく輪になって」No. 3

【発行】 熊本県健康福祉部健康福祉政策課地域保健福祉班

今回で第3号です。

毎回、「何をお知らせしようか」と頭を悩ませているうちに〆切がやってきます。この間、第2号を発行したばかりだということにもう第3号の発行です。そうこうしているうちに次の号の〆切が・・・。

このメルマガは、情報を提供するだけでなく、みなさんからの情報や御意見を紹介する場としても御活用いただきたいと思っていますので、情報提供・御意見お待ちしております。

今後ともよろしくお願ひします。

目次

市町村情報

山鹿市（第2弾）

振興局情報

鹿本地域振興局

トピックス

地域協同推進フォーラム・くまもと（1月23日開催分）「潮谷知事、地域福祉を熱く語る」

市町村情報

山鹿市（第2弾）

山鹿市民大集合！

1月25日（土）、山鹿市の銀座（？）「プラザファイブ」で、“ふくふく鍋でワークショップ”が開催されました。ひとりでも多くの人に地域福祉計画策定やボランティア活動に参加してほしいという山鹿市地域福祉計画策定班やプラザファイブ青年部の熱い思いから、買い物客でにぎわっているショッピングセンターで実現されました。

最初にワークショップ「障害者班」から、車椅子でのタウンウォッチングの結果発表。道路の狭さや、急な勾配、スロープやトイレの使い勝手の悪さを指摘されました。ショッピングセンターは、スロープや障害者用トイレなどが設置され、一応配慮されているが、建物が古く、通路やトイレ・エレベータ内は狭いなど、構造上の問題を指摘されました。しかし、修復にた

くさんのお金をかけるよりも、買い物ボランティアの活躍で十分に補えるし、人の介助の方が融通が利いて効果的であると、ボランティアの必要性が熱く語られました。

次にボランティアにしてほしいこと、ボランティアでしたいことを参加者から書いてもらい、整理しました。「話相手がほしい」、「子供をちょっとみてほしい」、「買い物の宅配をしてほしい」とボランティアに期待する声や、「荷物の運搬ならまかせろ」、「踊りを教えたい」、「子供と遊びたい」とボランティア活動を希望する声がたくさん聞かれました。

山鹿市の担当者は、このような盛り上がった雰囲気を見逃しません。ちゃっかり、ボランティアをやりたい人55名、ボランティアをしてほしい人19名をボランティア通帳に登録しました。

登録された方、頑張ってくださいね。

最後に参加者の声を紹介します。

子供やお年寄りを預かって面倒みたいと思っているが、部屋の片づけや家族の理解などが必要で簡単にはできないので、市民がおしゃべりできる場所、ふれあう場所、ボランティア活動ができる場所がほしい。

本日のような、市民が自由に気軽に意見を言えるような機会や雰囲気を創ってほしい。しかし、言わせるだけでなく、ちゃんと実現してほしい。

障害者と高齢者の交流が大事だと思う。

地域通貨など新しいシステムを検討してほしい。

～追伸～

商店街の協力でクイズの賞品やふぐ鍋がだされ、初めてふぐを食べたと喜んでいる人や、「今日は何事ね、地域福祉ってなんね」と事務局に尋ねられている人もいました。記者もふぐ鍋を食べながら楽しく参加させていただき、カラオケボランティア（教えるのではなく一緒に歌って踊る）なら出来ますとアンケートに書いてしまいました。

また、「住民座談会をしてもあまり意見を言わっさん」という人がいますが、山鹿市では8つのワークショップでたくさんの意見が聞かれ、当日もゲリラインタビュー的に街の人から意見を聞きだしていました。えらい！！

参加者は推定で約150名でした。

この取り組みは1月26日付の熊日新聞にも掲載されました。

振興局情報

鹿本地域振興局

今回は、鹿本地域振興局の取り組みを御紹介します。

1 研修会の実施（平成13年度）

地域福祉論や地域福祉計画、地域福祉活動計画について計4回実施しました。

2 「地域福祉研究会」の実施（平成13年度）

鹿本地域振興局、管内市町村、社協職員がメンバーで、厚生労働省の策定指針や高浜市や阪南市等の先進地地域福祉計画などを研究しています。計4回実施。

3 地域福祉計画策定に係る情報交換会（平成14年5月）

地域福祉計画の今後の計画等について打合せを行いました。

4 地域福祉計画担当者会議（平成14年11月）

地域福祉計画策定ガイドラインの説明と進捗状況について打合せを行いました。

5 市町村支援体制

地域振興局福祉課で地区担当制を敷き、各担当者が必要に応じ、市町村を支援しています。

主な支援内容は

- ・山鹿市 行政内部検討会やワークショップに参加し、助言
- ・鹿北町 策定委員会や行政内部検討会において助言
- ・鹿本町 行政内部検討会に参加し、助言 などで。

トピックス

地域共同推進フォーラム・くまもと（1月23日開催分）「潮谷知事、地域福祉を熱く語る」

1月23日に熊本県立劇場 演劇ホールにおいて実施された「地域協同推進フォーラム・くまもと」で、潮谷知事は、さわやか福祉財団堀田理事長と対談され、その中で地域福祉推進への思いや地域福祉計画策定への期待を述べられました。

以下は、その発言の要旨です。

地域のニーズは多様化していますが、行政の取り組みには限界があり、住民参加（パートナーシップ）による地域福祉の推進が大変大事になってきています。

熊本県では、平成15年度中の地域福祉計画策定を目標としている市町村が約67%有り、全国平均の約16%を大きく上回っているのが大変期待していますが、その反面、策定未定の市町村があるのは心配しています。

また、地域福祉計画はただ単に策定するのではなく、住民参画による住民の声に反映したものでなければ意味がないと考えております。

そのためには、住民座談会、パブリックコメント、住民提案、フォーラム等十分に活用しながら計画策定を進めていただきたいものです。策定後の実行や評価についても住民と協働で進めていく必要があります。

住民と協働で進めていく過程においては、“行政が何をしているのか”、説明責任、情報公開、費用対効果等に十分留意していただきたいものです。

本日発表された地域で活躍されている団体を始め、県内にはたくさんのNPO法人等が地域での支え合い活動をされており、本当に誇りに思っています。また、水俣市社協のみまもり活動、玉東町社協の福祉ホーム、甲佐町の世代間交流など、県内にはがんばっておられる社協が多いのではないかと考えています。

今後、社協の役割はますます大きくなってきますので、地域福祉推進の中核としての活躍を期待しております。

潮谷知事の地域福祉への思いは大変強く、誰もが、がんばろうと思うような熱いトークでした。

熊本県地域福祉メールマガジン
月刊「みんなでたのしく輪になって」 No. 3

【発行】 熊本県健康福祉部健康福祉政策課地域保健福祉班

記載内容に関するお問い合わせ、情報提供、御意見、配信の解除、メールアドレスの変更など
一切の連絡は、熊本県健康福祉部健康福祉政策課地域保健福祉班 へ お願いします。

E-mail: kenkoufukushi@pref.kumamoto.jp

TEL: 096-381-8410

FAX: 096-384-9870